

令和5年度 第4回 恵那市障がい者計画等策定委員会 会議録

日時:令和6年2月21日(水) 午前10時~10時30分

場所:恵那市役所西庁舎3階災害対策室 AB

出席委員:伊佐地委員(委員長・会長) 横光委員(副委員長・副会長) 藤木委員 堀部委員 西尾委員 樋田委員 加藤(健)委員 坂井委員 小川委員 山邊委員 加藤(信)委員 水野委員

欠席委員:遠山委員 早川委員 三宅委員

事務局:恵那市医療福祉部 部長 鷹見

恵那市社会福祉課 課長 沼田

恵那市社会福祉課 補佐兼係長 渡邊

恵那市社会福祉課 総括主査 大島

恵那市子育て支援課 担当係長 水野

恵那市社協障がい者相談支援事業所 相談員 渡邊

恵那たんぽぽ地域生活療育支援センター 相談員 青木

(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 鈴木

(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 高田

内容: 1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1)パブリックコメントの結果について

(2)障がい者計画等の最終計画案について

(3)恵那市障がい者計画等の「概要版」について

4 その他

5 閉会

1 開会

事務局(課長)	ただいまより、第4回恵那市障がい者計画等策定委員会を開会する。まずは資料を確認する。本日、パラスポーツフェスタのチラシを机上配布させていただいた。 本日は、たんぽぽ福祉会の遠山委員、ウェルトピアきょうどうの早川委員、障害者団体連絡協議会の三宅委員が事前に欠席の連絡をいただいている。また、会議の公開に関して傍聴席を用意している。 本日で委員会は最終となるのでよろしく願います。それでは、古山次長よりごあいさつ申し上げます。
---------	---

2 あいさつ

事務局(次長)	皆様こんにちは。本日は足元の悪いなか、第4回恵那市障がい者計画等策定委員会とこの後、引き続き開催される第2回恵那市自立支援協議会にご出席いただきありがとうございます。毎回、厚い資料をお送りさせていただいているが、しっかり読み込んでいただき、毎回ご意見やご指摘をしていただきありがとうございます。おかげさまで、まとめることができた。本日は最終の計画案となっているので皆さまにしっかりご審議いただき、地域の計画にしていきたいと思う。どうぞよろしくお願いする。
事務局(課長)	委員会の議事は委員長にお願いするため、ただ今からは伊佐地委員長にお願いする。

3-(1)パブリックコメントの結果について

委員長	これから会議を進める。よろしくお願いする。まずは(1)パブリックコメントの結果についての説明を事務局にお願いする。
事務局	パブリックコメントの結果について説明
委員長	パブリックコメントの結果について説明があったが、特にパブリックコメントがなかったということであった。最近、いろんな情報があり、なかなかそこまで目に入らないということもあるかもしれないが、このような形で公開させていただいた。それでは次の議題に移る。(2)障がい者計画等の最終計画案について事務局から説明をお願いする。

3-(2)障がい者計画等の最終計画案について

事務局	(2)障がい者計画等の最終計画案について説明。
委員長	障がい者計画等の最終計画案について説明があった。大きな変更はないが気がついたことがあればご意見をお願いする。
委員	21 ページの市役所の障がい者雇用についてだが、障がい者雇用を上回っているとあるが、障がい別ではどのようなになっているのか。
事務局	現在、財務課に支援学校を卒業した方がいる。庁舎内の文章を運ぶ等の仕事をしている。その他の障がいの部位については具体的な数字を確認するので今しばらくお待ちいただきたい。
委員長	今、総務課で調べていただけるとこのと。その間、他の委員で何かご意見はあるか。
副委員長	22 ページから、第6期の進捗状況ということで、数字が令和5年度末の見込み量で変更も含めて確定されているが、この計画のうえに第7期ができていくということでもあり、この第6期、文章的には「目標が達成できませんでした」、「達成できていません」という言葉がどうしても末尾にあり、この辺りはそれぞれ担当課で分析、なぜ達成できていないのか、この数字なのか、ということではほぼ達成ということは、私は具体的にはよくわからないのですが、取り残していることが、今後の第7期にどういくのかということが、やはりそれぞれのところで明確になっていくようにと思う。いつも、年度末に一覧で総括的な表も見させていただくこともあるのだが、具体的になぜできていないのか、A・B・C・D評価等も入っているのだが、その評価の数値にかかわらず、きちんと総括のうえに、新たな年度の計画というものが、0から1であったり、人口や障がい者の規模の中からは、その数字であっても大変貴重な目標数字になると思うので、その点をぜひ総括とともに、今後に生かせるような計画を望んでいる。

委員長	その点で事務局からあればお願いします。
事務局	やはり計画は、伸び率で見込めることと見込めないことがある。今回は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、見込量はできていないということもあった。また、不足しているところは、施策を展開するなど恵那市の欠けているところが課題となるころであるので、引き続き分析等を進めていきたい。各課も毎年度、年度末に評価することだけではなく、引き続き、福祉的施策進めていただくように働きかけていきたい。
委員長	今までのものが計画に反映されて、できなかったことに対する何かという部分を考えていかないと次のステップに進めない。 他にご意見等はあるか。ないようなので、次の議題に移る。(3)恵那市障がい者計画等の概要版について事務局から説明をお願いします。

3-(3) 恵那市障がい者計画等の概要版について

事務局	(3)恵那市障がい者計画等の概要版について説明。
委員長	恵那市障がい者計画等の概要版について説明があった。これは市内全体に配布するのか。
事務局	全戸配布は予定していない。ホームページに掲載したり、濃縮版として説明するときに活用させていただく形になる。現在、恵那市ではデータで書籍化してタブレットの中に取り込みをしたり、ネット上で配信するというを進めている。紙ベースも用意するがDX化もあり、極力平行に進めようと思っている。
委員長	ある程度の部数は作るのか。
事務局	そうである。
委員長	計画書はそんなにたくさん作れないと思うので。概要版については計画がわかるような形のものがある程度配布もするということか。
委員	これも電子で見られるようにしていただけるということか。
事務局	そうである。
委員	概要版のSDGsのマークの字が小さい。文字をもう少し大きくしてもらえると、より優しい概要版ができると思う。
事務局	読みやすい文字サイズに可能な範囲で対応させていただく。
委員長	先ほどの委員の質問について事務局から説明をお願いします。
事務局	21 ページ恵那市の状況の表の2行目に、令和5年度の障がい者雇用者数が21.5人と総務課より報告をもらっている。この21.5人というのは、重度にあたる1級、2級の方で、フルタイム勤務が2カウント、短時間勤務等の方を1としてカウントする。障がいの程度、勤務時間ということでカウント数が変わってくる。合計で21.5人となっている。障がい別だと、身体16.5、精神4、療育1で21.5人となっており、実人数にすると18人である。身体障害(上肢、下肢、心臓、腎臓、聴力)、精神、療育、合わせて18人、短時間の方は、身体障害1級3人、精神2級が2人、療育は1人となる。18人手帳を保持しているという状況になっている。
委員	療育は1人なのか。
事務局	そうである。5年以上入っていない。市役所で知的障がいがあると仕事をするのは難しいかもしれないが、障がいがあっても公的な場所で働けることを広げていきたいと思う。いただいた意見は総務課に伝える。

委員長	文字の大きさについては事業者と相談して決めていただくようお願いする。 概要版にはユニボイスも付けるということであった。他にご意見がないようなので、次の次第その他に移る。
-----	---

4 その他

事務局	自立支援協議の会議のなかで報告させていただく。
-----	-------------------------

5 閉会

委員長	閉会のあいさつを沼田課長よりお願いする。
事務局(課長)	本日は慎重審議をありがとうございます。本日のご意見をふまえて製本をし、改めて委員の皆さまにお示しし、多くの市民に周知をしていきたいと思う。 以上で第4回恵那市障がい者等策定委員会を閉会する。